

令和2年4月24日

大阪市立加美小学校

校長 吉岡哲郎

## 令和2年度 「運営方針」(案)

本年度は、大阪市教育新基本計画の「教育改革・第2ステージ(4年計画)」の4年目に当たりますが、COVID-19の影響により、計画を大きく変更せざるを得ない状況です。

かかる状況を考慮し、文部科学省、並びに大阪市教育委員会の現在の方針に則って、本年度の「運営方針(案)」を以下の通り作成いたしました。

### 記

#### 1. 年間の見直し

COVID-19の影響により、昨年度3月、及び今年度4月の臨時休業のため、教育課程の実施が困難な状況である。学校再開の時期がはっきりしていないが、教育課程の実施に当たり、行事の精選、時間割の変更、土曜授業の活用などを検討し、児童の学習への影響が最小限となるよう努める。

#### 2. 臨時休業中の対応

文部科学省・大阪市教育委員会より、次の2点に配慮する旨、通知があった。

「規律正しい生活習慣を身に着ける」

「主たる教材である教科書に基づく課題を課す」

この2点は、ともに学校に対して「学校再開時」を見据えた取組を促すものである。また、休業期間が更に長期化した場合には、年間計画を大幅に変更することも想定するよう指導があった。課題の内容や児童の課題実施状況も評価しながら、取り組みを進める。

#### 3. 年間の取組の3本の柱

本年度は、次の取組を中心に据え、児童の「生きる力」を育む。

1 「15分の集中トレーニング(陰山メソッド)」の実施。

集中力など学習に向かう姿勢の涵養

2 学力向上支援事業校に選定。算数(計算領域)の基礎基本の確立

3 「時を守り・場を清め・礼を正す」のスローガンの下、基本的な生活習慣と規範意識の涵養